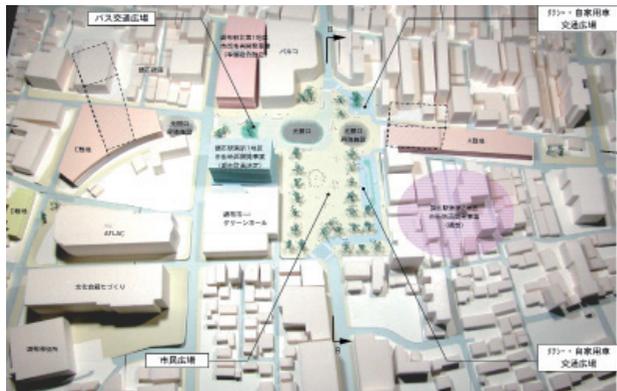


京王線国領・調布駅間の連続立体交差事業（地下化）に伴う、新駅前広場および周辺整備における構想策定のために財 udc のもとに委員会（委員長・岸井隆幸日本大学教授）が設置され、アプルは委員会検討資料作成、関係機関協議等を担当した。

調布駅については地下空間への自然光採り入れなども含めた駅空間の計画変更を提案し、関連する駅周辺鉄道跡地利用のあり方、周辺再開発計画との連携、駅前広場の積極的な市民利用などの可能性、および駅周辺の将来ビジョンの検討を行った（市）。

あわせて鉄道上部および周辺の低利用地等を活用した開発計画検討、都市計画や地区計画の変更、地区内における容積等の再配分や公共機能の再配置、事業間連携の可能性やコーディネート手法、具体的な事業計画検討を行った（京王電鉄）。



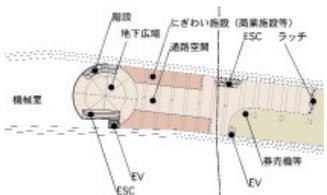
調布駅周辺整備の模型による検討プロセス



調布駅南北駅前広場都市計画決定（原案）



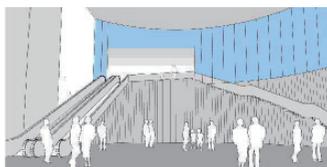
調布駅南北バス動線連絡案（提案）



南北一体型駅前広場整備イメージ（案一地下部）



南北一体型駅前広場整備イメージ（案一地上部）



地下部空間イメージスケッチ

経緯 連立による魅力的な駅前広場の創出・調査'03.1~3h / 同調査2'03.4~04.3 / 同調査3'04.6~05.3 / 地下連立に伴う都市デザインコーディネート業務'03.12~04.3 / 中心市街地駅前広場及び周辺整備等に関する調査'06.4~07.3 調布市・財 udc / 調布駅及び周辺市街地に関する現況調査'06.1~06.3 京王電鉄 担当：中野、岩村、加藤、田邊、池田、伊藤、佐々木